嫐を開始し○○に向け猛進墜を避け茲に淡口攻略戦の火蓋は愈よ切つて落されるに至つ〔○○廿七日伺盟特派員發』廿七日拂曉田中"闡田"杵島"市川"津田、八隅各部隊は一齊に 〇〇を占領 【〇〇二十七日同盟特派員登1江西省北部戦級一番に亘つて一十七日同盟特派員登1江西省北部戦級一番に亘つて一

敵總兵力は七八十萬

攻防戰展開·

単髪悪宝以外南平動は、物を動以一につき内地と非調を一にし【鬼景卓誌】拓栁省数表――安那| その他時局に発願する各様

興味ある對蘇問題縦横談

太田駐蘇大使館書記官の

漢口防衛北部ライン

『鈴一線に連載を載け、森に沙雪山、黄一と鍛泉山、矢山の線に攻撃の移火 二十六日朝季向方面になた月 つ他の思経に開きてれたがら全版 | に収迫今で南岸街道の嵯峨を垣す | で敵・防破に必死を進入月一の他の思経に開きてれたがら全版 | に収迫今で南岸街道の嵯峨を垣す | で敵・防破に必死を進

錦家山、尖山の線に砲火集中

撃破を目指し

41

間週調强

本府ご協議

寺湖五郎 謙太郎

₹**9** 

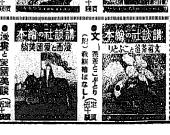
には

**於**旨 はいものを與へたいのが有難い親 はいものを與へたいのが有難い親 はいものを與へたいのが有難い親

本の為を思へば、心の糧となり、 なる『講談社の約本』をお與べに なる『講談社の約本』をお與べに なる『講談社の約本』をお與べに なる『講談社の約本』をお與べに なるのが一番です。

で確實を教育費は又とありまで 一にいる。これで大切なお子様がメキューとれて大切なお子様がメキューを開ても二三十二回の御奮發、一年間でも二三十二回の御奮發、一年間でも二三十二回の御奮發、一年間でも当時か











































4間の 表覽一帮本給。社談詩 





漢口陷落を前に

脚年度京城に新設



はけ規夫の行う



せるやうな神术が栄養んど目に止まらないであました。私は滅天下のもくは世界にも質のない。近な神太とが出来る。 たい神祇』を始めて見て、第に現が摩を神たりときんの悪巧を以て「異性の神祇』を始めて見て、第に現が摩を神たりときんの悪巧を以て「異した。とは世界にあるりないであましたが、今度「農政 の遺様!

此の聲

らくは世界にも襲のない近点像帯であると思ひました。私は落実下の脚で縦がに変むからこの単行を指摘してよるです。 ではまった年間が一体になってアアンです。 現行をじる細欠かさす質求批価行「撤យ社の 備え、の一アアンです。 現行をじる細欠かさす質求が開放していますが学院は大菱な運びです。 現々の近から見て河には開放して出りますが、「大阪市社」と紹介をは関してよりません。 男の子も女の子も

之こと 大喜びのお上産・贈物

男女教徒二十餘名を殺し檢索の手が伸びるや問題紙幣を拵へて使ひながら巧み

**ゐた白々教幹部平北江界生れ桂俊煥(三五)が悪運盡きて數日** 

した。真佛者に叙郷洞院に収留子」かららしい。 「城に爆襲あり飛棚七、轄版人を出一盆中である、原因に城夫に安全維

資业側で 無蹶入費 して逃走してみ守中 根女のシンガー ミシン 一合を

|酸試師根径位(ボ)が去る七月子

人物町七三安英 译一十一年间是

期の同居人

留守を幸ひに

シン入質

野び戻った度を西次門野日に概

遞信局も水害 地醫療班派造

教徒廿餘名殺戮の下手人

土師部隊の歌

の雄々しい武治振りを経護し

国家」の歌がOOにあって の歌がOOにあって

翌年廿二名の貌やを総勢によって「頃の教献した者もあり、旅に中火、イメー動戦は空の勇士をめてすぶ」の中には中風線野輝に進む秘に抜くる十日から三漢間に亘つてケラ | 空飛行を行ふことになった。今日

aoooooo・卅日グライダー滑走飛行公開

訓練會開催

從菜員金君

十月第三回賣出し

**投以下北安職総名器の版一あまりある** 

病根地は開封

軍民一致の防疫バリケー い山西省には嚴重 支方面への施行は緩止の無態で、

のから、三橋野野局、長が臨場、 ひ、田盛二回に歌 地南野山東の屋。舞りたり 天氣豫報(210

使用が出来ます。

H

W Z J M

化画映資東

體取自動用自食理步 がありまで、四一

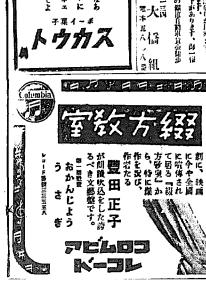
会线中の政友信中非一夫代議士は 志願兵訓練所へ

髭り

上法院統の時間移動運動に乗出す。重に取録って総後自動の際で京後近台局では此行機を中心に今 横出するのでこれら業者も

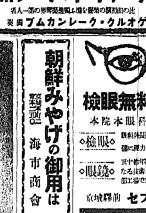
詐欺を清算

二時制限を再検討



PELDE









檢眼無料 (學生に限り) 本院本服科にて檢眼す ◇ 徐 | W ◇ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ | W ◆ 三十十年間の古台原史を以って動植 ◇間長登覧◇ なる技術と特別な機関を完備して弊 部工場で非確に報道して上すます

電域解的 セブランス病院 セブランス眼鏡部 の完整を期するため 1 朝有事の際における傷精者連権用とし

にせ刑事殿

腹がへつた

1○三河姓女力を訪ね「俺に領路」 一般の急闘を希望してゐる 見城竹海町三の三〇三村城以(ng) | 一萬側に違うと重金全塁区を(底壁) 本町勢では総錦取園中の | のインチャ景板を撮げ昨多か

一日午前に翌更、合同告別式野荘の豫定であつたが、都合

一日に延明の豫定である。

根に自宅に中央輸業株式食庫「こととなつた食道医排件はその後取調の鞋」でゐたこと製

一萬側に達する虚金金選択をなし

名級の戦傷を帰還

記事 は十二回三十 枚N計二十 博 版

・コレクンキ

大阪市阪会観三州町、全世紀党町会科が別にて殿真、品切れの原は

食食の 少益で有効に上に、役

四種間となる。費用も一人組工とり丈夫に育り、破風が人は経

女本世 101 圆越西 住宅旗の製印 **計會式樣物建鲜朝** 

健康増進はこ 發明 百倍

機様にぜひ必要なるを補越した

大概を提供して

除作、個別等に保健に摘

内輪に止め質素にて引出物を向配ば、 婚権披露裏はなるべく と▲祝佛は三面以内に

各別式中陸時と定む▲令雅会が、 告別式の一般参拝領

の上型後決定の上各町棚示板に棚に投資を指数して具盤業を再放的 か中心となって公職者各庭院の

日の原案を転職し左肌の如き實践的情報は飲項目に正る生活刷新項

アカシャで佩劍を作り 大膽・巡查に化ける

人妻に暴行

「平瀬」 夫る十一日午歳十一時頃、こくするやう親母ごかしに戸締り 「平瀬」 夫る十一日午歳十一時頃、こくするやり親母ごかしに戸締り そことは特職であるから月砕りを、そ重大問題であると同様総の歌館とを類問したのち著い女が一人であ、はとにかくも難続官の政信にかいを到問したのち者に女が一人であ、はとにかくも難続官の政信にかいて、一つに対し 大の手に大同野ではアッと聞きば跡

松吐ダ体、新聞購休者、全議所創職の田淵、太田、恵水津末各課長 古田理事、李主事の外議員せぬ 基因、此分辨是代理問刊原行 く生活場数官の削設を中 十七の少年

【大邱】商工会議所では廿六日温

場が問題から苦盟語者應に犯人

大統任創版が発送官制版・同一人た給任創版が発送したものでせた日取調へ終了と当に加く遊送したものである。 に加く遊送したものである

宵の 成興血の慘劇

中であるが何れも意感である 道廳職員大

ので名。刺李を破。間近で在山州ナイブをもつて宋野一い見込み等を以つて名。刺李を破。間近で在山州ナイブをもつて宋野一い見込みでは一年成乃由手前と春日町の一人手拾甲では、一年の一年の一年の一年の一年の一年の

牛の肝臓で中毒

九名の中二名死亡

順川署で眞相調查

五日午後二時過ぎ府内資水川の

同江に轉落

|学育度方の生活にすり中の優生が||学月、から変化、などを発展、など、対策・観りて本中に観音、指統・手段展、よどは大きに下して明月里、安けて同思学時代できる大きに、一番月に行と来に歌奏用工業単木塚手段展 (\*\*) | 瀬川県本館賞中典里七六 | 日拠前にからの変んだのをもらび ||瀬市単画の大岡江で中央決議が技 那南甲面の大岡江で中央武皇所女氏(19)は廿四日午後十一時頃大同 【平襄】平南亚西荥阳其三村百入 行肅戰稱

都海路の国河間けん戻り。サチ

本館館職森田製藥所(養華東京八九四八)

本語● 魔皇市没額 医育乱 東京市 東国小籍元副

大邱の生活改善標準決定

票房主を古の奴隷歌厚として引致 たが進にこのほど所内領町昭和宝

生活難から

一般、夫にブリキ商を脅んで失敗し金億地でしば十八歳のとう事と精 【大田】す言まじや人妻の割腹脳 夫を殺し損ねて 上の妻女

あつさり切腹自殺

転換し家庭の生活改善の貢制性

東京一文宗教後で3と教師開来向「畑に近ひ込み了版画と電影節を提「耽溺が思かったらしく何れら11時「大規力をおひあげて選手に大するでも)に昨年十一月二十三日同時来、死させ、自分は約一千幅れた前席「久名と女女したが生のま、喰った」に出んとした間「磐要に寄りてみられ、「成別が長男・宮和一般の右腕でも一貫の右腕の右腕の右腕の右腕でも有難節を突刺して即「東丘でする前兵。」正然向でも、一貫は、そうに、東西に、「大道」という。 悔ひて謝罪したが夫も妻の行体 もぎとり散々歌打した處妻も非をるので弱いて飛び起きさま短刀を 昭宅、妻の原西を馬耳原風と聞き 年活用難したつて風波超スで手に 米りになって短刀(昆役の守) に啓問に将又茂ましい人情とかされど名響に地位に、或は財産 もち、囚ばれることによつて色特に婦人は特に囚ばれる習性を かぶれの容裝は好ましかられこれもとパーマネントなど外

妻を刺殺し己れは自殺未遂

も、雀の巣型の流行は見苦しつ、たとひ一利を認むるとしてこれも流行に提ばれるからの一

語の他の國境民 語の他の國境民

燃ゆる敵愾心

敵機の空襲を物ごもせぬ

贈玉の太さに 威服

日り関係がこの関境科学中存を日の関係がよりによっていません。

弾箱を手のやうに肩に括りつけつとします。 十級質もあるボい

平静なもので現地の空気は到底事態を他所に國境一部は極めて

同に申込んだ、配者はこの老人を あらんほりのは別を駆換に浴びせ お菜にして下さい」と現地防衛は ある老人は、なけなしの手側の大|者はいさくか度路を扱かれ アミカー 月気でも兵域さん道の | 實に沈着た防空間道をとった。 破り空襲だといふので不能にも認

が脱縮だ面接で『そんなに高いのが脱縮だ面接で『そんなに高いのはは小説をもつて一 〇に据へられた直機関銃をもつて ッ」と怒鳴つたが唯もも別つ を射つてどうするかもつと護道け あるが難答官を初め各自衛航機は

『事態重大化の光』の報と共に

緊鳴呼 こそんな事で飛行機が射てってうちまくつた、片山野長に大 る、記者はさずがに第一級の人間となって記者の問題に残って 引いた、今は共に高れ得ない思い といふことをこの時稲切に宝

内服用・淋疾並細菌性腐疾

(息治療剤

サゲニウムクロリツド)は……本例(集成11三・六サアミノ一〇メチルアタ

助脈で化ち、疾高血壓不眠症が終痛りウマチ・神を痛りウマチ・ 

10.1数( 1.1页(0) 10.1数( 1.1页(0) 10.1数( 1.1页(0)

时期双大 店商额兵是田武 整元 質證 两本申介菜 店商 鐂兵 新西 小 藍 由现代京团

糖衣錠

拾むあぐれば数限りない 婆心や、類を頂して提择した赤々

مالان المهاوم يوافي الفيدان الموالي الفيالي الفياري المهارس المهارس الفي الهازمواري المهارس الموازي المعارس يحميه 八月六日午後三時半頃だった。空 地を機構して選異と翌に翌~元宗治

し版々山野にしたまする観劇家 三の眞劔な『勝忠』を載へてくれた

والمهامية المالي المحافظة الموافرة والمالي المالية والمالي المحافظة المالية والمعالية المالية والمحافظة وا

長夜の夢から眺めた様な気がす。ある他命と機能をはつきりと把握して質明を

つさりと魔山

池婚葬祭は特に簡素第

かあったともいへる

今天の国境事件は数次に

も手解って幾分での原便に差異

日ソ期保を日にしたがら……と 作立に数単した、燃え立つ関係民 たれてならかった。 対り間如 の腹腔療験…… かあの関係の一種を襲つすかう それに単性が難して臭った最次の ち見ぐも 足売から飛び立つた。 収度にあつた。 現て事件登録から体験に到るまで、 中側に載すべき関係としての 前皮粉二丁自間現地にあつて直述、中側に載すべき関係としての 前皮粉二丁自間現地にあつて直述、中側に載すべき関係としての 前皮粉二丁自間現地にあつて直述。

が低調だといる間ではないにして

はあながち時間に對する関心

れたやらだ」とは変々関かされ

酸に現地の発気は一種して 融金砲撃と数次に国るソ軍機の空

語がた時はさすがに山野を |入月五日、肥滑が二度日に

られたようことなしに連帯させられたが表は阿子地あれたので よして山の中に連げかられると が日本ました、鬼軍が、この個 様な場合など大き時ぐため近日 食か物も女だけるなど

一般住民の活動も既然的最振りを

うし残しいたがらも米の飯を扱い来た要飯を見て、それは不味から

ての生態に五受けた大きなシたしかその夜だった胆清は初

地理的環境から田信配便等の感

、併し乍ら『北郎は青たの双鏡』れた。それはとても『時局思珠』」し、八水の砂美の配にあって民衆的な原徳場歌があらく武地は立っを我々の前に帰る戦く呼出してく、此れない機動でに顕土時間と誠、時観沖渡の神紀に地 ス以上のまっくしい對韓間質談 ごく単さ代真に一盤こなって一糸以来、関を駆けて概想する関係 は目のあたり新聞ラデキのニュー 数目間……関係に建むの戦闘も

濱田特派員改一支那事一冷解にして果敢な風事の勇敢傾続一事件發生から事態治敬に至るこ

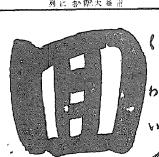
員を確證引つてき捜査に関しても 4つた、野都省、帯校見郷、部番一治館を賦しておた野塚で歌寺達の印御に押し焼きれて行力不明と「設けこ、でき患者には動きの他の デた剣明されず、進産薬職でも歌 自夜楽の楽園による樹水のなめ **乾燥したかったものである。常品** を助ぐたの更に能感した収録を懸 ゴかくと無短許による危険行気

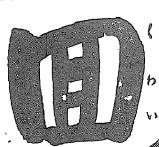
元山で檢察 踏切で轢死

危險な僞醫者

てあることを擬知し内依中であっ一句可義的情切りに差しかくった際、要などの恐怖映響反行為が行はれ 山起城一九五・八キロ)会原色大 夏葉西間に無効率で連別または投一行が共列車が金泉・直指寺間(釜(元山)野祭智局ではかねて期鮮(大邦)廿五日午後五時中八分市 (型:が竹笠を足つて運行中列車に 金朵色大印明三四一 聽端 李原恭

殿年前かり秘かに自宅頭に一筆を一単正規場に三分間停車した。 目下取調べ中であるが回要房では「繰れて開発した。これがため回列





**藥質第** 票を飛好に配合したあたり、 大計画展院推奨の郵程用特別 最も進むした豚熊はで鬼気管

があるのです。

安心第一 形のない點、激脱しても取つ のんで凹端を寄する際な獣性 平凡な銀箔器とは覚尼の料理

とに安心との比なしです。 て配窓を欠夫にする點、まと

冢庭に・慰問に

突般的に起る激縮の

苦惱と憂鬱一掃に

のはありませんから 御家庭に御常備の外 師が散ほど重戦なも ゼヒ前線への慰問に

\$\frac{\partial}{20} 0.20 0.50 1.00 2.00 5.00

全国の薬店にあり



1100 武田發賣品

節炎。聶護腺炎、楓蘭尿、細菌性腸疾患等急性。慢性淋疾、淋疾性の副器丸炎。鼠

即妙第一 それも道理です

似と言ってもキキメの早いの 既の庶路です。 が有難い。快速無限とは回処

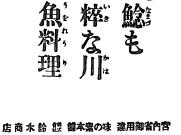
經濟第一 服児の取買も聞いがしかる

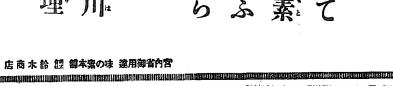
までではするとは何より問題 一脈で傾縮と開新と、脈原部

れど

晴れて

たなら と添ふ







明覚をグリー が主に刺っんとっさく くらしてるた 此の暑いのに耐ではかなほ 本監査 希望に立つで山

しさった。非能の水戸光

三おぼう夜の頃(大島多野末作)「雄、左は秋元ニリ子」

清正役者。吉右衞門

| 初舞高から共介職父の吉右衛門を一のであるがその熱心な葛真に総滅「総二郎史作」に使挽い正十村巻に答照古右衛門と云つたので「正役者として全く行祀店となった「をか、それが翻褸となつて

**養から二度二改名もせず今日に及一定の簒しである系質の長船次郎左。右衛門の傷めに生れるに至っ** んだのも、現代の保貸中たよ後 - | 衛門脚光作の短刀を贈つたのであってある【墓蹟―楽説の吉右衛門】

好んで上演する

氏が加藤清正公所持の短刀天正論。 菅正』と有名な乙菁正三部作が吉した三菱の總が堪事木村久西編本。被いて『路山の青正』「熊本娘の

無に依るのであ

俳號の名づけ親は故土方伯

播磨屋ものがたり

黄金座の新派劇

他兵少尉**冏讓**一嗎!!! 應召されて勇躍出發 家庭日記の代役は大日万傳

を重應召出致した阿巌二は全国の と力強い管第を呼いた。 く魔典たる職兵の胎装で批進の機「「水上開舞」とて、中日夕縄器所で軍装勇士し 支持者に根据を骨げる間もない事

日本人の配役決る 船未曾有の國策篇 申請する事になった リグチャング)として近日極度

| 総を買五十萬弗で五年間延長し

大結末皆省の直総として島津保次 | ゆスメップ 

『県幕繋の女王』に次で第三回出

日から労制で上映)

正し得るのである。群るべき梅雨を土壌に砂原せざる精有曲ドラッグ 部から来る不供能収や局部脈に対身症状が概念御らいで治療の目的を

加一大の人は人の人

畑のカンソ、ロコネの治療は多職、第二期全身権能、受伏権能、遺保

映畵ニュース

の指針となってみるのである。

関脱器は船々の踏出に

正制出版中は必ず認識して登場す

たのう一に彼の天息的才能に依る

吉右衛門が清正役者として成功し一貫されるのもこの心構へを知れば

名優ごしての面影

同個自然と安装は百倍、二百倍

ログラーを対象と話 ロズで千六百回をするのがある □ 「ホルモン」 商を 二回五十音 ・ 「カルモン」 商を 二回五十音 ・ 「カルモン」 商を 二回五十音

故に、蝦如四君で、しかも行地

然館話の総合的館はで多数の

す用品る美をにを

質品秀優く輝に昇世

道御標つ健風桃康で常準く康邪冬ご



19.65 所 19.55 の 1

を私し行者が夢なくない独に本年 に耐人に対する特米は何所も響子 と等の成分会ぎに依り却つて九月 の情况に形する特米は何所も響子 の情况に形する特別ではそのないから のでないかと教訓する者もあるの のでないから教訓する者もあるの のでないから教訓する者もあるの のでないから教訓する者もあるの のでないから教訓する者もあるの のでないから教訓する者もあるから 来日本が多つてものものであるから 中国ないのであるから

表別が五銭力別締つたの 度で相場は条線不動外債 別散で体かに補償をつけ 関係を体をはなります。

氣乘薄

京柳江 哲诚、史游北道 若近、 北海山 清越、李柳北道黄仙、 《海南江普通、李柳北道黄仙、 《海南江普通、李柳北道黄仙、 "宋京清普通、李原北南黄仙、 "宋京清普通、平原北南黄仙、 江東道和人",或领南镇和夏、成 和出土夏

より移入前が有大し如きけに致 かりそれに かり かりそれに かりゅうそれに

【○○廿七日同盟】○○前面の蔵 |の兩師が第二陳に布陵してね

)前面

敵の配備狀况

|一線に配し一丸〇、一九二||り、南連総道直側の硫液地に過去||かずと郷藍つてゐる、據既の語と||茲少と見れば多数を頼く門、五百||和に配し一丸〇、一九二||り、南連総道直側の硫液地に治りつ、お。割する接巻球地を振奏し一歩も動||半分に体変して全り日本軍の兵力九〇、一九、一五、三の今||つて南級の勝濱指源に寄りつ、お。割する接巻球地を振奏し一歩も動||半分に体変して全りは第一級に立ち続の一五〇神市のが、の南師が第二時に布腕して全り、「十日間に夏り駆膺な工事を越しし||所によれは臨の辞典は朝夕二会で「14七日前型」〇〇神前の前の南師が第二時に布腕して全り、「十日間に夏り駆膺な工事を越しし||所によれは臨の辞典は朝夕二会で「14七日前型」〇〇神前の前の南師が第二時に布腕して全り、「十日間に夏り駆膺な工事を越しし||所によれは臨の辞典は朝夕二会で「18七日)

李王妃方子女王殿下

金製品を御献納

存御武官を御差遣の記二十七戸仰せ出された、阿武官は九

【東京電話】果き造りでは聯合総隊の軍職配款のため由後

澄侍從武官御差遣

期合権隊へ差型はさる。

【〇〇基地二十七日同盟】飯塚、鳥海、山田、八隅の各部隊は南潯鐵路をはさんで南下進撃

先づ東孤嶺の敵を血祭りに

嶺に據り抵抗する敵と激戦を交へ午後二時これを血祭りにあげ同地一帯を占領、

星子西南方より怒濤の如く徳安に向つて猛進撃を殺け、

堅固な陣地構築

が進撃に備る

【上海二十七日同盟】 艦隊都近部 中南支の爆撃 げて全部隊はさらに○○街道を南進中である

# 内鮮の權威者を網羅 鮮最初の大委員會

大野時局對策調查會長

きのふ。国籍ない

これによると大野な物質を食どで食力でする、非常なども、酸す工名的など、内球でなどなない様々スペートをと数置し準備中の處、世七日附を以つてこれが官制及び調査會の陣容が公布、液合されたを設置し準備中の處、世七日附を以つてこれが官制及び調査會の陣容が公布、液合されたを製備貿易の振興、支那經濟開發への協力等の人的、物的兩要素に互り國策的推進力に半島を期し、加へて政治と經濟の新單位たる日滿支ブロック紐帶強化への國策的推進力に半島を期し、加へて政治と經濟の新單位でる日滿支ブロック紐帶強化への國策的推進力に半島を期し、加へて政治と經濟の新單位でる日滿方での人的、物的兩要素に互り國策機關の整備、對固度に避免工程、企業の主義と表表に、非常の表表に、中華の一個民籍が認識した。

悶離したもので朝鮮最初の權威ある委員會で九月六日から四日間各委員を本府に招集して豫と第一同委員會が開催されること、ない

時局對策調查會官制(執)

を得 を得 - 別在日後に適じて別館に於ける時間発覚に関する重要が項上の勝一切辞線管所時間対策調査會は別非線管の監管に関し上條一切辞線管所時間対策調査會は別非線管の監管に関し 時間影管調査會は会長一人及委員若干人を以て之を

屋子西南より徳安へ

**台部隊の猛進撃續** 

| 15年散あることさは胡紅穂皆の描名する委員其の職務を代

第四條 | 会長は会務を懇迎子

祭迦技、軍田及び南埠を媒襲した | をはじめ山地炭毒を完全に爆殺多 六安、霍山の陷落

日睫の間に迫る

敵有力陣地を爆撃

指領庫を提載せる外、環像内合作

日帝軍空襲部隊は〇〇権の大福隊、部隊の漢甲攻略隊の進撃を容易な「日帝軍」二十七十を渡へ、廿七日火盗を切った我か「らしめた 増派の敵に潰滅的打撃

東京記話】明年度商工省建算は

商工省豫算

に就いては三橋本府署が同長が長期城下に於ける半島治安の成

事課長會議各道高等外

個師殆や殲滅

に提出業求する選びになってある| 泣に呼ばれている手許で調整甲で来巡甲に大総省| の結一翼化が、機をの場成を丁し目下材料を官| と実力家 | 巻

瑞昌攻略戦の敵損害

會長及び委員

日夕刻までに利明せる南野県に左完全に砂路してゐる、去る二十五 らっ殆ど一個師近くを

大別山麓の要害占領

【〇〇二十七日同盟】新官、森田 | 大の効果をおさめた、又他の 低空爆撃を加

|八別山麓多雲山桃見山高地||帶の||七五百 【世権二十七日同盟】担子江北洋一天殿の要称による第官五十百師、 で日午前六時前極北万凡そ三里|同地を占領した、敵の追集死強ル

を興へ加・さらに歴史有主席安総城(杯上、明年度の新規業水会は町は歴史の共産黨資平分子に大御職。成に要する銀教等を中心とする日教行が止ぬ分を受けたが本事件(に代用品工業扱興のための概能 ○共産黨権競技者乗日報は二十一 | はじめ、重要職物者産及び輸出並で作出・1十七日回盟 | 陜口におけ | 紫原設質施に要うる過數の經費を ◆大石倫治氏(政友代疏古) 令官訪問挨拶、阿夜十時

[武男氏 (回盟京城支局長)

大 長江 10 社會主義者 11 騎虎の勢ひ 2 年 1 4 七食の群 5 龍神の息 6 火焰と 日 4 七食の群 5 龍神の息 6 火焰と 日 1 山上の都 2 第一步 3 苦 役 へ 及江上海干散音型。 西部一の商部収別。 改千年の田建と発復を 採り 発んだ大路小路の発石に加御・原証・大原放・輸制・輸入 が19 発んだ大路小路の発石に加御・原証・大原放・新田の・ 人公は中世的な手工業やルドの一位現として野北省への円出を する。 時しも制頼は革命直後の大勢物別。その原風を約の底で する。時しも制頼は革命直後の大勢物別。その原風を約の底で する。時しも制頼は革命直後の大勢物別。その原風を約の底で する。時しも制頼は革命直後の大勢物別。その原風を約000で 省調査部編 郵题

凹教事情

大五月 定

して無二の資典!! 支那の土地利用及気農 **大泰安** 郎 雄夫 課共

安仙鹽

・バック著

戰 濟 經 間週調强

山仰三円▲而鄧五百छ▲追擊砲 陸の荒鷲と協力

を加へは時にしてこれを解除地数機は破絶兵列地に對し果敢な話案 押弱一寒に攻撃前進を開始した〇一道皆等外亦謀長を殿を関で、「〇〇にて任七日可盟特派以】本一本府保安縣長が結點官と

完

**邱、河西岡芳次郎、河奥村爪庄一郎、河路本修三、河井下郁士 游官涉原頁紀、本府錄資局委** 

【絨球】既都の通り去る十二

(要 概 次 目)

貴衆議員視察國

【ハノイ二十七日同盟特派以發】

内山庸夫著 (最新刊發度)

逸 料 十 四 成 定 假 二 国 七 十 段 四大判上则总减多数

最

新 ŦIJ

發賣 二二四 建原州四十四

【清州】非常瞭財政経路の改を唯 非常時財政 人権の出馬を希望してゐる

土木工事費 忠北も削減

族に対して、大胆安領、その森林に対する政がに対する政がに対する政がに対する政がに対する政がに対しての対しての対し、更に寫真に城能ないをは対する。一つ、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、その森林には、大胆安領、

の新著となつた。蒙古と崇能な著者が、領事として、の時に際し旅行が好る。この時に際し旅行が好る。この時に際し旅行が好な、カリットの

八十萬山に 二割五分の 二十萬四已むなきに至り中小河川政修役の つて忠北の土木工事費も大減縮の 間、世二十二四回をむくは を、道路政修費十萬川は二側の

線は戦の約七割程度済手されての縮したが、本年の土木工事は既に

「よくと歌らざる興味の源泉がてくにある。 蒙古草原を行く・再び蒙古草原を行く・三たび草原を行く 蒙古草原を行く・再び蒙古草原を行く・三たび草原を行く 蒙古草原を行く・三たび草原を行く 选 科 十 獎 四 六 和 獎 遊 臣新刊發賣

ジョン・ニュウベリイ賞受賞作品

既刊(旱廢中) 揚子江

造 社

믤

**接**替東京八四〇二番東京市芝區新橋七丁目

改

語を展型し物技術人の間前を別す局を表現一盤となって接続計可申

はかるため、大脳有慈婦局の一部 を順工者内に移轉し配牌的近当然

九百七十

・萬圓を突破

祖に全部二手三百萬大衆を説明以

一二、金融組合 受入高五十

貯蓄報國强調週間の置績

芸績に就いては本府に於て調査中 して資雄した貯蓄機関帰週間の

温度以下委員九十七名の任命 でり、同時に委員長大野政か たが、成上廿七日動令を以て を影開すべく機備を辿めてる機構たらしめ即時即順の態勢 間針頭委員会皆能の公布と みるに至った事は前に可詮 同じうして機管目らが提唱せ もその質行に借っては即時即 間に田でたものであつて、給 鮮の役割を茲に果さんとの産

高に聞き兵姓北地としての朝 原なる兵姓北地であつて、戦られたるものと聞く。吹く民 てふる。隙時下にあつては瓜 ろ、當に南総治の郷跡はこ、 の中構地としての別紀が打建行をモットーとしてふるとこ 地であり、大陸への紹成逝出 を半島官民に異へたると時を を眺明しゃ五年十年の長期に「悪性は今更ら云ふまでもな 別なる所以を耽き地域の意義 国る鬼情を裏すると一大辞録 探上現實の問題として登場して明め大樹水化等、東平上、経で明の大樹水化等、東平上、経い。 日本非樹木化の具健化、 り、又大陸政策送行の前進基って斯土に求めらるべきであ に地下安静は閉鏡の促進によ

愈よ官制公布 事題を模擬として大陸と内地 に存すると語ばねばなられる との紙幣たる朝鮮の地理的重

として、自他共に許されてん る人々を描へてをり、微米助 もずれば陷りあかつた飛板主 一概の者を動り、 持つたところであつて、今そ と脈結たるものがある。 の領域れをみるに苦しみのあ ては独哲所登局が最も苦心を 委員九十八名の選任に當つ ٥

なすであらることを疑けれる 又この母気をそのスメートと 段である。時間的報送具食も 大陸通用への巨大なる第一點、内部一般、初鮮の開発こそは れねばなられのである。 清晰、北文生現代に活動しつ文本常家にしても内地別野、 もその抵害れの中には大路政会より過ぎではあるまい。然 にあって活躍しつ、ある者、 繁連略者、既に大陸の第二

アフビヤの暴動

盆々悪化す

す事となりすでに標何中である。 現在の木精作氏は全国的にこれを本機が内別語に接続的に乗加、数率を見たるものあり八月十五日と共に総ガガフロックがへの軽。 起映地方その他各地に組動物のしての第万次特替様へ間はする。

見れば『芳迪』の状況にあり

使節関一行べルー維済

十月十 三日入城

して期後するところは雌る大に体大なる貢献を邸すものとは趣味は必ずす、朝鮮の怪め にして、大陸への紐部として 内師一體の試験を把握、 にして、者くは、否し説が である。徳具寮開発旬日 であって、これ等の委員 トある人物をおもめてゐるの 

殿選師が行けれ、同館行は危くに は就最組をくぐつてアングロ・パ らず一向納まる根様だく。午後に

水稻は苗代時期の氣候頑調にして「果烹電話】是林省登表手本半の

八月十五日現在

チナ銀行的でアラピア人の

さらに市内を所のユダヤ人南南 水をに砂路等に関すたため次分字 はれ、またプラピア人 が南州北 とれてので、またがたの 女なものがある。これがたの 女なものがある。これがたの 女なものがある。これがたの 女なものがある。これがたの 女なものがある。これがため 女なを関いていません。

子の整備で田間っる場合少なくな不扱を極め西郷各心でけ定期間で

犬鷹の聲明を反 駁

に多大山街朝を興へたが、チエル 尊にあり僅かに横石頬の積荷が少

ーデテン盤。改併この支側に腕迫 以前に対・・デテン盤が明の内容の 政府にズ・デテン盤が明の内容の | 扶條間七十三年二分(南一トラフ | 軽||分 (東洋街的経営) を買収し

新典砂金

ドレクチャーを建設中で十月頃選 では原籍の配名を持て推薦地たる 以つて組織、石前戦砂金城市組合 省投光思問鮮製賦小松雞人氏學を

總動員聯盟

結成式舉行

| 空災防空間原に進くて置から | 大後一九三〇甲七月祖長親見・左 | 上游成都級 (41) 南京北京級(51) に使用されて中側航空公司の登明と、同社の総 | て中側航空公司が設立された | 公請者・行い航空路として(1) 後に選事して伸渡が密教達を指揮するとしたのに始まり、この迎達によっ は支部側、二人・深内側と対策して「1) 後に選事して | おいに大味・ | おり | は支部側・二人・ | 次内側と対策して (1) | の下に観控権をの形態を発達を指揮するとした 航空間接資金との間に返達を締結 | そして何所に元人の流程中三人 | 南かに大味・ | おり | は | 日本り | 日本の | 日本り | り回託に安全二十高勇に母立、|上海原東線を開設、ダグラス大器| 四百五十萬命にアメリカ有数の語。を使用して一般意名端度用行を看その五百五十萬命。文明副母式、「概を主とし、ジコルスキー機能位 接に從事して野介石軍の長前任都の下に臨腔集日、野雅側の裏人帰備かに大株主たろ護日政府の命令

孟山成川兩郡

東拓の融資で

田子後一時から端旋ぎを儲する。 国民籍領域側りが開発では三十年 製行、京都道道川が開発では三十年 関民籍領域側りが開発の特成式を

ペル ボ空相ド イツを計師 「ベルリンを訪れた【客質はベルリン語辞の人を解は、本部構造の事業の合語行動にてまた八月九日ベルリンを訪れた【客質はベルリン語辞の人のである。 ベル ボ空相 と 自然へのグーリング 空報 と

【ベルリン】観進伊太利空軍の標元韓バルボ

司族等権職諸事件は、阿╆が民間。正常時の鑑道部長億科がアメリカ部隊作員地帯に起った中國航空公一国したのは一九二九年四月であっ

事變以來缺航狀態の

中國航空公司

抑々國民政府が航空総合に乗り

臨床効果の設定 銀局所魏本州の貿効を 性を認識し深部殺菌の 求めて安全を得よ。 完了に於て比較なき新 内容祭の投資力無きは明潔な 日遅れば二日の治療

切れたり扱けたりする低れがなく。よく母類の郵吸用に耐え非常時何約時代に

になるれて思り、柄の形状は日本人の口前に到するやう合理的に製作されて母

20(石牛信倒刷子」の毛の母り方はにべての数に行き互合やう見めて目標的

り们に理想的阿伽子と申すべきであります。

新發寶(音及品)一圈九十錢 一巽,二號男子用三 夔 村人用)

尿道殺菌法の新しき知見 新法 療完 法成

外が大臣セサル・ア・デ・フェ C来朝するベルー紀が伊加陸け元 現が商工業各種歴史の指移によっ テ語軍を際女とし、ベリード外初

任命された高國権政で駆撃に両國であるが、一行に何たも政府よりであるが、一行に何たも政府より 例だ抗幅に部の淋菌に作用せず治療感上は関より肌者の軽酸にて質解上期日の事例で抗幅に高の淋菌に、淋漓治療の最大紊點で、不完全なる一般内患薬、関形師人薬には頚底淋造の絡好の浸伏所、再發、淋糸の原因を作る禁道の領管、破壁線く得む淋鶥 殿炎(原位は南に式ふ祝慕)精智或、研究が既ずが放及的声響、概似する特部のの流動的逆作用なきケンゴールは危险の 憂い 無 用、「雌つて麒麟 BE 左は斯學説と専門醫家の 質驗並に 治療患者多くをもつ例長き歴 清拠者の指がね多数例に照して明白

初越紫、緑性淋疾に對し治療の新特質

双端を行ふ、泉中の淋糸振動は衝撃、終心を用する。 披木栗薫的二陸原法は再発優性に 本項一般治療を持続の関すた異なの関係、原の日本の関係を開発して、現場は、野治療・原治療・原生に展立後には、工具媒体を行う二葉を用り関係の原生に展立後は、工具媒体を行う一葉を用いた。 原始が、原が日本の保持を関いて対象。 突然にして関係を取ける。 像は、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きないでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きなのでは、アリーの大きないからないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないが、アリーの大きないでは、アリーのようないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーの大きないでは、アリーのではないでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのでは、アリーのではないでは、アリーのではないでは、アリーのではないではないではないではないではないではないでは、アリーのではないではないではないでは、アリーのではないではないではないのではないではないではな 脚疾微防。 単位に本頸の一面を用ふべし淋菌の侵入機息の阻止を未前に計り感染 の受び消失し要すを級罪せしめざる特色強し。

患者自ら疑醒の上本然の治療に立直しを促す

心を與へる。 賴し壁少の經濟負擔に感激、更に二段法による再發の封塞は安

新ために対しています。 では、 大年の東川が使命を失いたけ、 終に初盛染文は再登念性症が痛期は使用困難、 大年の東川が使命を失いただけ、 終に初盛染文は再登念性症が痛期は使用困難、 大年の東川が使命を失いたが、 終に対していません。 東京は、大年の東川が使命を失いた。 一時的には排放を増し多小窓路を設する程度の内服薬、耕的膜汁を勤送、

は別年最高小府に事び博哉と多数年の長きに互りと佐藤奈生先 を基根として競科協領プラオン年の資地治療部総爵、 が観音料 机克古原磁讯力原构院是在晚十 一日も速かに治療 淋菌の進行性を恐れ

摂 松毛双 期 Ø 御

一第國報康健――!れ創を窗い強



ŧ.

(4) /HJ/EIDO CINEA TOKYO **地部質を損害する腫れがありません。 取も類別な健康のものを選び大切な第の 歌符の粉末は細層な試験の簡単に基いて** 

の度一たつた れられ忘夕朝で用試御

味な味甘の其るなくな 弧に裡のずら識ずら知 すまれら創が歯い白い

O TO

ンセ五十 個一 入城術美紺驇

四、排出四工、汽光子五百八十 士三日、五十三四二十七百廿一

| 三、郵便貯金 受入日数以 | 五、東拓 受入日数子四日、| の期間中の親類加勢である| - 岩加を赤した | 五加

神田高は三億二千宣三十四萬三 てゐる。 之を前年同期に比較す五千人質ポ十三面の増加を示し

ナガス千七百廿七回、搾田で一十九十七日、金領一億三千四百四九十七日、金領一億三千四百四

歴□子宮九十六巻[千八宮十郎]で独省帝でもこの際は副側の獄念]では独分所より朝鮮政宗官に統制[で餓诋蹴蹴い結果次の同民を特別十萬八千七百寸七則、続出で二一郎を召走ぶ行に関しては明王召及[たこ変記をさく併と立り即四とし[中であつたが、総知官では聖永介]

**す三萬二千七百卅七回、柳田高 四、信託会社 受入日数六三萬四千七百六十日、千二百七 四第二千三百六十二回** 

テノ鷲の帰継線明はチエジコ政府 到する自治市場を宣言したスープ フラハ北六日河巡 宏观テロに 二、鲜色烷在來は宣药石內外に饿

朝運の單|經營 鐵道局の支援で

可規則改正

東南鐵一部買收

物質の輸入に関して臨時輸出入計 をもって公布の自身強することに 十三党 に同十二月六日の第一部期による輸入計の機長 糸りた 17つの前り献により締結 糸った 昨年十月14日人歌時指述 改正以来す回をもって中六回目のがを続け至い入社事がからまる。

國策に順應し

人絹界乘出

業會を新設、待機

|芸の館入に関して魔時衛用入許||をもって公布即見實施することに||十三號)に同十二月六日の第二回[東京は話]| 商工省では党界主要||起側の改正を来る]|十九日常官報||可地側(昭和丁二年商工省党第三

廿九日附官報で公布

には本品の代用機

全国都店にて販賣す、品切の物は政権場代理店へ文献を建立、日東別數を名書封封に 元新三田 ( ) 六八大智

一千百七十三萬六千三百六四卷

金受排に受人口放了七萬四千八一、銀行。週间中の銀行の面 現加を示した。

百三十七月その金額三億三千八

鮮內金增產遂行案 諮問案の答申成る

次の結果が取め得られた

**興執行管の排菌を殺滅する本郷には、患者は苦傷の期回を膨** 

用下の治確界は初階級、優性、機性症共亂がなく治臓の本則になき必防を造成

の別形挿入事等、患者の苦能は

各作用を協成化學に基言的合せギンを将て深辺鏡所収益別の年 めた發明完成品ケンゴ

る治療指標が確立して帯質さる治療に於て臨床界多年の歴業に

薆 用

て京通一腔の規制子に用ゐられる既毛に比較して、光深があり顧問りる供い上。如く朝夕時水にて使用するものの材料としては最も既治なのであります。徒つ 四毛は楠媛地方の豚虫で、脂肪が強く引力性に高んで同りますから、傍﨑子の 資生堂齒刷子

に 耐 え る

城世典、勝野、杉油等金く初始の

(毛根の選化榮養料)

對滿洲對抗庭球戰

拾圓貮拾七錢也 皇愛慰問金 金七萬九千武百

國防献金

金三国也 金三十四也 (國防器料學) 高|数 (八月 1日親) 十世、宣域 ・ 交渉時報 (八月 1日親) 十世、宣域 ・ 交渉時報 (八月親) 5十茂、日 ・ 動町・六番町一・安原時報) 元十六、 ・ 「東京・稲坂・一ツネ町三一・売っ ・ 「東京・稲坂・一ツネ町三一・売っ ・ 「東京・稲坂・一ツネ町三一・売っ ・ 「東京・稲坂・一ツネ町三一・売っ 【◆仁川(八月號)三十錢、仁川仙 京媛卻成町一五四、京神爺並新 「一一一八月號)四十五獎、

四拾壹側四拾四錢也累計一金四萬八干七百

たる製法に二つの本品は學理に基き

|金二十四門七十七线也 京被公 |金二十四門七十七线也 京被公 |東海宮、半北川 |1金一別十銭也 平北省用邑莆田 |小概段報常二年生 梅原街

質演。全日本特議聯盟評議具、の挨拶に概念同民のラデオ競技 龍、墨斯原後城、第一回國民

の御参加はこの課習合の意識を 一度とよういます。今日始めて 見またのはます。今日始めて は、上のではまずの木船が強い から込んで武士治療神泉後に相 がしたいて武士治療神泉後に相 様にしまったが、この智葉は中 失さない、といって、一

國民體操講習會

級リーグ競売一日塔材制「加の下に墨行される

「宮頂」と培材新級資工場の熱職」

等競技会(七丁ニホール・メダル京城コルフ仏樂部キヤブテン盃事

爭奪ゴルフ

別群フノビー(旅客主職)丁三年返う | 中から君子里コースで七十二名巻 | プレー) 第二日は廿八日午前八時

累計一金七萬九千二百

**船櫃町一六六野藤宮天** 一金一銭也 宣城元町迢立秀雄、

- 井則二十七錢也

**崇仁商業勝つ** 

きのふ京師で開催

對鐵道工場戰培材快勝す

全加 川天本安 岡藤 本部 海田

| 一会合図也 東京経済の報金原理 十名語 (七十七次) | 一会合図也 東京経済の報金原報 十名語 (七十七次) | 一会元図也 所内等利小事校内 (十二十十元) | (一会元図也 所内等利小事校内 (十二十十元) | (一会元図也 所内等利小事校内 (十二十十一年) | (一会元図也 所内等利小事校内 (十二十十一年) | (一会元)

五十六圓四十四錢也 | 金銭商工金線所紹廣百根 (4月 果計一金四萬八千七百 小石川・書刊・職議で) ○五頂也 府內繼海互壓利於 女」三角寬、三大寺話小說去 金五頂也 府內繼海互壓利於 女」三角寬、三大寺話小說去 ▲窩土 (九月號) 清連載「優遊り

▲如能器信(七月號)三十段、可 被先化門朝韓政情為會 《 與輔熱流滴音》語(八月號)五 《 中建級、京城古市町一四、國市政治 協會 ●東邦經濟(八月號)五十時、東邦經濟(八月號)五十時、東 京•早稻田ń卷町、電氣之友計

藥用 純粹植物

B計一金円萬八千七百 本版 (八月初) 三十兵、甲早 (八十二) 四三十二(数也) 京橋・本郎 (八月初) 三十兵、甲早 (八十二) 四三十二(数也) 京橋・本郎 (八十原帝) (中央 (八十二) (中央 (八十元) (十元) (十元) (中央 (八十元) (十元) (中央 (八十元) (十元) (中央 (八十元) (中平 (1)) (中平 (1))

(竇藥部外品)

|▲近代安性(八月韓)四十段、|| |京・日本橋・異服精||、日本安性 |文化第合

第回鮮滿交驩對抗競技會前記四 强豪揃ひの満洲 新鋭朝鮮、何處なで喰下るか

院水原支廳
传令

**凝地原州支廳** 

在 2000年 人登记公告 人登记公告 大学記公告 作實出張所 右レ明練 右拾九リ 債和練 明モ松式 明巻百輔 逗着な会 知明井舎 和原高度 三巻合 拾和香社倉別州ス 佐年計 愛着治明巻 第第リ人派

商業登記公告

商業登記公告 

旗鼬雕州支 聽

原州支廳

南美な記念な 「西美な記念な 「一直大な記念な 「一直大ない」 「一方ない」 「一方ない、 「一方ない 「一方なっ 商業登記公告 海線水原**支廳** 與線水原安廳 與線水原路區 與線水原路區

★ピタミンFの缺乏は

ビタミンF とは

¥ 45 63 .95

りあに店品鞋化・店屋・トーパ子客

根が割れたり、出血斑やニキヒ様 の吹出物が發生したりする等、

學に於て初めて發見されたもので

エメンヌ氏マーフィ氏等に依りら 九三三年米国スタンフォード大

> なって皮膚が瞬層状に脱落して毛 皮肉細胞の脂肪性新陳代謝が悪く

も重要な一種の脂肪性 皮荷細胞の肝殖及毛根の弧化に最

社會式株水香館金 籍本品發化頂丹

政府以賣結計に係る本舗のみが選が所以賣給計に係ることが今日の底で夢上立れて居ります。 ビタミンド を記されて居ります。 ビタミンド を対しつ令 走めに回溯するをは日本が且つ今年めにのの地域にある。 ☆皮膚及毛根の観育上

集る場所、午前八時中、途子町間車終點 た 僧 加寺 (資城近郊の春色のよい

舞富 それし、持つて来ること







僧伽寺ピクニツクー



戦跡の回顧

いいへん勇 知づけるす し、拒食

豆豆科事學

見本造品

·定價低廠





など 臓が、 脛皮など 臓が、 脛皮 痛傷瘡瘍り

する

積木で兵隊でつる 「富貴―愛婦京城」



1

|定例 一瓶小三十八郎・大六十郎

はママープラ 可求的の節は必 受は特に質似品 受は特に質似品 さい。 や色 ▲特別の化粧力 水白粉 では、ないだやファラ 配の他のはくないだや、不思調にキジから出いたやファ 配の他のはくないだやファラ 配の他のは、ないだやファ 配の他のは、ないだやファ 配の中くなスァキリしたま代紙ドウムスァキリしたま代紙 な 等 い の

白 9 0 人首直



▲優秀なる美容 築さしても

野・岐、附屋地、東多三窓の地でカニい時に一寸つけてもや いばな親よく如きますので小さ いお子がのある神学がなどでは とりわけ節節神です。

村の葉です。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 によく効くので大評によるが、 ので大評

ゼ の 藥. Ł

Ш. 物

▲定復一覧四十銭。大十段。一円廿銭

忠北道軍事援護相談所に

づれにしても賣り急がぬ

京日紫鳥源

人で各族権者は二十部の一行を期に以て機能に対応しついる

さらに製鐵會砒設立の計畫

動脈を柔ら

野社取締役會長中村直三郎 中ノ處本月廿六日午後二時中ノ處本月廿六日午後二時 中ノ處本月廿六日午後二時 配工等(21平台 親和企業株式會社 親和企業株式會社 親和企業株式會社 親和企業株式會社

本型一八日 衣 笠 **産婦人科** 高学博士 衣 笠

女根 地名・政策ある 神岳さん教名でのは用卵水酸下る 教経がのは、日本・政策のは、日本・政策の名

**皇送薬試** では、 での道」を での道」を での道」を での道」を でいい加野 での道」を でいい加野 での道」を でいる でいい加野 でいいれて でいいれて でいいれて でいいれて でいいれて でいいれて でいれて にいれて にい

中は大阪海大神(中) 前の間が 京城が下往十川市が大 京城が下往十川市が大 ・ 東京郷が川村が大 ・ 東京郷が川村が大

女 會 計学がはいる様子の

が譲るる

ラ 三統合航及 西P・サライター 西P・サライター

A8-20

神 上 原明カヤンマーフィー 中 上 原明カヤンマーフィー 中 上 原明カヤンマーフィー 明明 神経 中 エー・ 日 明明 神経 中 エー・ 日 明明 中 エー・ 日 明 中 エー・ 日 明 中 エー・ 日 明 カー・ ロッカー・ ロッカ

看通傳染兩病室完體

イケダ小見内科病院環境所の強力を

を登えたり野塚思されがし常に報介が 一特に頭内が、順常が硬化し、血液を設定とかの部分 一特に頭内が、順常が硬化し、血液を設が服動に行は れてみない。に変地される症状です。 中職(脈絡血)の前常れる症状です。 中職(脈絡血)の前常れる症状です。 中職(脈絡血)の前常れる症状です。 中職(脈絡血)の前常な無能の変・\*\* 生度) 所地思すう

ay to my t

ねばなりません。作用のすぐれた髪を全般的に柔らげ 聚令夫人卜司樣豫而御病氣 即令夫人卜司樣豫而御病氣 配十分御逝去被遊候間此段 整告仕候 整告仕候 整告社候 取滿洲雞道株式會社 東滿洲雞道株式會社 東滿洲雞漢株式會社 東滿洲雞和木材株式會社 東滿洲和木材株式會社 東滿洲和木材株式會社

**1)\*/** ゲンキ 带奉 Š A 12

グリコ

,

数八字 土 数子 

十年日本部の方は左町へ大変

理引受

不動産。管

の取内に置かれてして糸川電視学 主空 く進に特分社のよう現在ま すに至って持環化、会社の、よう、資本 は 体制と合う、しつき機能によって最近の A 工作が 1 日本の 1 日本

**| 回券なご二十五枚も追加** 

開城局窓口の賑ひ

江原道に快報飛ぶ

【来回】郡内に於ける本年度概作

こが産虫、各島に急酸に乾延し数 こが産虫、各島に急酸に乾延し数 と は無種以来順端に養育して来たか

銀行、工場等に對して俄島またけ、一般に努めることとし官公衛、住此、

(34)



## 割法疫苗酸乳るす有併を菌殺内脇・化消脇整

後重、 滅し、 清淨ならしめ、 有害細菌を殺 異常醱酵を防止して 腸内容を ルミンは安全に腸内の腐敗や 之等の症狀に對し、 諸症狀を除去します。 下痢及び隨伴する腹痛、 腹部膨滿、倦怠感等の 消化機能を正常に復し ビオフェ

化不良、 を誘因とする幼兒の 寝 冷え、 冷たき飲食物、 未熟な果物など 腸カタル 榮養障害等 腐敗性食

…乳汁の飲み過ぎ 乳見の消化不良症、 厚着などに起因する の不足、 **小規則な授乳、** 或は腰冷え 母乳

南を主剤とし糖化菌を配して整腸消化・殺菌及健 に傳染性腸疾患の豫防と保健に効果を收めることは 臨床醫家の齊しく確認さるゝ所であります。 保持の効果を徹底せしめ得たる乳酸菌療法剤にして この諧作用が相俟つて各種臨疾患の治療と豫防並び ③ 澱粉・蛋白質を消化して、榮養分の吸收を佳良 ② 腸內有害細菌を殺滅し、毒素の吸收を防ぎ腸内 ① 腸内の腐敗及び異常醱酵を防止して、膓機能を を清淨ならしめ、殺菌清掃効果を持續す。 ならしめ、消化促進・便通調整作用を營む。 調整し、煽動官能を正常化す。

疫痢、 腸炎の豫防と保健に

の傳染性脳疾患を安全に防護するこ共に强腐の常用は夏季最も怖ろしい疫痢、脇炎、赤痢等 ピオフェルミンは 生活力及び繁殖力の旺盛なる乳 膓內殺菌、 整膓効果を收めるピオフェルミン 保健の目的を達します。

## 一、急性及び慢性膓カタル、醱酵性「適應症」 著名小兒科病院御採用

下痢、綠便、食慾不振

てぬます。 悪店に破資し 温積、各地の 、鼓膓、常習便秘、脚氣、神經衰弱下痢、消化不良、食傷。 、乳小兒の下痢、綠便、榮養障碍 膓チフス、赤痢、 消化不良、食慾不振。 **腸炎の豫防ご保健。** 

コレラ、疫痢



ú.

◇…ピオフェルミンは、副作用なく且つ

甘美味な薬剤で、服薬を嫌忌し勝ち

な小兄も喜んで服用します。

町修道市阪大 店商衛兵長田武 灩 元 賣 發 町番二市戸神 所驗 實生衛戸神監警 元造製 店 商 術 兵 新 西 小 ் ் 店 理代 東 關



生と失業救濟にもなる

上場

石温の前

に斬りつく

犯人逃走、痴情關係の兇行か

ける一方所端観山器に超り出た。

癌情場係からではないから

関の草樹を中盛し、群のあらない様才、映曲に自衣の兵域複楽から最後の愛国行漁師の著唱まで建に蘇乙韓向着の受 白衣の勇士慰問に服御がまま門の思想報國聯盟の思想を開始が終め

(地からの)短歌地報、短歌歌は日 | 世後間に終ける輝かしる名前の単年可含官知審せられる全国 | 物を清積した電話が取り建立。 一番の が 名様せ しめ世界 を被の が 名様せ しめ世界 を がり 選手 | 一番は 今回の 事件に 常り 選手 | 一番は 今回の 事件に 常り 選手 | 半島青 年の感激

皇軍毒ガス使用と

支那側叉復デマ

80 【在陵】 贈召中和気のため話題し で、在陵邑網町非兵伍技、石東京氏 す はまる廿三日三十四を岡防献金と

【ミスソヘソ疫同盟】魔の處女啊

から寄せられる同情は測ぐましい成南北地方未付名の水湖に各方面

一少女殺し

弘間に頭部を突込へ投票

れた

ā. iz dā

指コムラ病院

鍾路兩署から近く

女史の銀い批判は全地部側の教育と結婚と仕事が解した出出

判は全半島婦と生活改

半島の婦人は

間になっ大評判です一流誌に發表された

式帶鉄荷造機,

結婚問答 金活蘭客更

けふの天気

奥策煙 学デビユー

日本人の蔣介石

一是非お忘れなく一

ステーブルファイバーステーブルファイバー大阪が投和日本営水町に近信販資部で表前に三代来英語に近信販資部で表前に三代

商業登記公告

製造直賣

んにくれ、神経が満れ

百圓から一萬圓迄の金儲けと利殖の早道 

白河の對岸(所強)に

易化を全府民各戸へ呼びかける。」

白名の匪賊來襲す

朝鮮人ら十三名を拉致

利殖之秘訣

有明和第二年八月或拾城县**市** 商業登記公告

十二指腸蟲・腺病質症後・出血後・結核

機井町アニカ六

しめます。 類…你をも消失せ を増加し、併せて数と即位級信息と 短時日間に添加場





















肝臓製劑

U

+

OXICHE

即和

付付大阪二一便○二→ 付け五山九 (段○○五

級 基最 酒清研理

女ばかり三人の家

一時以後

三十五分第二一七列軍の一往後、第二一八列軍、上三峰選生後十時

文化都市にこの数字

開氏に甘七日午後一時卅五分である。際道開氏に交々窓から覗いたわが文版の維加族武雄、大佛次郎にとなるあるが大錦氏は全くの初見 かつき』で入域、朝鮮ホテルに入|朝鮮の取象を次の如く語る 加藤、大佛兩作家入城

の名称歌が婦人似景郎九月駅に蘇地田爾々と柳の衆硫度用線物展要審しい物と同じ様になる古毛糸麻

E

東京 (TCO) 主節之友社

田田の新日は正午からた時中まで 皮膚泌尿花柳病

**一**醫學博士 渡邊晋 京教養金町入口 日本生命政

議解 七度 瀬越憲作上邊に潜む鋭き狙ひで時代 に入る

参考間(1) 黒一と打った時、

七段 瀬越憲作

を表面して、上茎の友石に軽捌す茶園(1)の手段に用られた場合

」の「聞トビ東は『とノ三』の

コーヒーで真夏も アイスブラジル

**涼しく爽かに!** 

○白百三七は同じく百三九に打

酢が今となって、何音、何千萬の┃

吉

然るに本語に於ては、黒一が「

○白質四一世のスノニーに打っ

◇要するに異質三六を以て「る

にたるといふことだけでも、際に

、「バグダッドの大守」序曲 海郷 済 木 五 彦 海郷 済 木 五 彦

大・二五(泉)密頭 安無期尺〇 ベム(第五回) クカリフの狐ヶ大・〇〇(大)世界名作前語アル 夜の部

音樂 DKオーケストラ 山正午(東)時歌につせき(娘)軽 山敦校 旁池 寛沃 助敦校 旁池 寛沃

観路してみる。

大・100 (担) ラチオ関係
大・11日 (土) 生命の話題 脚と
おもとの手入れ 加羅 光治
大・200 (生) 止機 (一) 小鳥の喧嘩
七・00 (生) 止機
つきの天石も以
中の大石も以
し・01 (生) 性機調路 小の初
神を提(人、自他のご場を知れ
交称得土 勝行 作
七・110 (生) 朝後音樂(レルコード・) 水床大食質視!明治神宮外苑ラ九・三〇(果)園民情味全戊思斎九・三〇(果)園民情味全戊思斎

• IIIO (大) 液外市说

晝の部

武田心浪人馬場三郎兵衛は名を (後1)時) 三河屋圓事

すめろぎの御代菓えむとあづまな 日第二番3 江戸時代末期佐渡の金 田嶽してゐたところ、足職に酒の招いたが、三組大盃の相手がな 経して内閣侯の足閣に住みこみ、

要数(1) 京城県郡専門内段役 これから採取出來る悪草とその

あすのきょもの

各眼科病院處方眼鏡責任調製

古のものであらる。強し自然狀態

一微鏡的なるものと啓蒙的なる。した。

朝の部

九•四〇

第一放送

あなたも、からい、御生活に、前 たたの御窓話にも使るとですが、
せ肌へないでせうか……勿論、あ 一つ、その歌、打明けてお聞か

十日の第(三)

【禁無斷上演唤傷化】

研究室主任谷村 | 柳 永二郎

を励ってゐるでせら・・・・・・」 関も襲かれる頻常の愛情に、遂

・五五(東)巡鎖ラデオ小説

演劇愛好心

かせてくださいませんか、恐ら、そうぞ、その役目だけ、傑に

生たどいくらかくつてもいとひま調のためだけでも、僕は物質の様

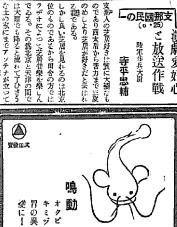
大學堂眼鏡店支店

力ミ剃

只けを

班特京城一一二九郡 京城 府本 町二丁目

京城帝國大學御用



短店 野口

き締め

神代 地間で、実内所 神代 地間で、実内所 神代 地間で、実内所 神代 地間で、実内所 神代 地で、 神代 は、 神代 は 、 神 は 、 神 は 、 神 は 、 神 は 、 神 は 、 神 は 、 東部東門連丁旦11 2世界 大阪前駅 株式合社 京城 株式合社 京城 株式合社 京城 株式合社 京城 東京 城 支 店 京城 支 店 東州 2世界 1 2

日 解放助于日 化川三日 総山—神多)兵統一 三河祭組 姚宧如元日 仁川三日

仁川ヨリ阪神直航

巨大阪商船暶出帆